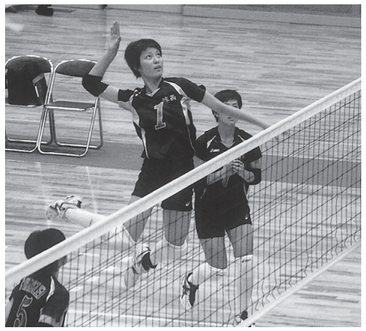
出場おめでとうございます
九州大会出場者激励会

6月12・18日、役場庁議室において、九州大会出場者の激励会が行われ、藤本町長より出場選手へ激励費が手渡されました。

出場選手、大会などについては次のとおりです。

【大会名】
第64回全九州高等学校柔道競技大会
【出場選手名】
岩瀬　礼さん（東上宮）
（熊本星翔高校3年）

【大会名】
第67回全九州高等学校バレーボール競技大会
【出場選手名】
斉藤　千佳さん（中網道）
（鎮西高校3年）


▲斉藤千佳さん

【大会名】
第49回全九州高等学校ボート競技大会
【出場選手名】
野田　翔太郎くん（宮園）
（八代清流高校3年）

【大会名】
第67回全九州高等学校バスケットボール競技大会
【出場選手名】
松﨑　百香さん（中大野）
（大津高校3年）

【大会名】
第67回全九州高等学校ラグビーフットボール競技大会
【出場選手名】
橋本　芳史くん（下宮）
（熊本西高校1年）
山本　秀磨くん（西上宮）
（九州学院高校2年）
松本　龍斗くん（原田）
（九州学院高校1年）

【大会名】
第55回全九州高等学校レスリング競技大会
【出場選手名】
本田　知也くん（本山）
（小川工業高校3年）
錦戸　祐也くん（中大野）
（玉名工業高校2年）

熱戦！会長旗ソフト
氷川町会長旗ソフトボール大会

6月15日、竜北東小学校グラウンドにおいて、第9回氷川町会長旗ソフトボール大会が行われ、4チームが会長旗を懸けて熱戦を繰り広げました。

決勝戦は、予選を乱打戦で制した竜北クラブと逆転勝ちで勢いにのる上有佐レッズの対戦となりました。

竜北クラブが初回に1点を先制しましたが、その裏にすかさず上有佐レッズが一挙に5点を挙げて逆転。

竜北クラブも2回に3点を返し、1点差に追いつく粘りを見せましたが、上有佐レッズが8対5で逃げ切り、6年ぶり2回目の優勝を飾りました。

▲優勝に喜びの表情を見せる上有佐レッズの皆さん

おやじたちの熱演で魅了
父の日チャリティーおやじライブ

6月15日、竜北公園において、第16回父の日チャリティーおやじライブ2014が行われました。

これは、父の日に合わせて毎年行われているもので、今年は5組のおやじバンドと女性コーラス「ローズエコー」が軽快な演奏と美しい歌声で会場を盛り上げました。

また、会場では「あしなが育英会」（遺児進学支援）への募金が呼び掛けられた他、町内のバラ農家の協賛を得て、来場者にバラの花のプレゼント。おもてなしをテーマに氷川町の特産品を使った「おみやスイーツ」が販売されるなど、にぎわいを見せていました。

▲軽快な演奏で会場を盛り上げました

緑のカーテンづくりで交流
竜北東小で緑のカーテンづくり

6月18日、竜北東小学校において、緑のカーテンづくりが行われました。

これは、植物の生育を学ぶとともに地域交流を深めることを目的としており、昨年に引き続き、株式会社コメリの協賛で苗や資材などの提供を受け、行われたものです。

この日1、2年生の生徒60人と老人クラブ連合会の皆さん15人は、協力してゴーヤやナス、ピーマンなど約100株の苗を校舎の花壇に植え付けました。

生徒たちは、おじいちゃん、おばあちゃんとおしゃべりをしながら、楽しそうに植えていました。

▲大きく元気に育ってね

氷川町の青年海外へ
青年海外協力隊員が表敬訪問

6月24日、国際協力機構（JICA）青年海外協力隊員として、ボランティアに派遣される松浦伸哉さん（西網道）が藤本町長を表敬訪問しました。

松浦さんは、6月30日から2年間、南太平洋の島国サモアで、小学校の理科と算数の教育向上支援を行います。

今回の参加動機は、途上国で貧困から脱却できない人や教育を受けることができない人のために働きたいと考えたことがきっかけで、「若いうちに海外で経験を積んで日本で生かしたい」と決意を話されました。

▲藤本町長と握手を交わす松浦伸哉さん

町内唯一の「大学」開講
ふれあい大学開講式

6月27日、氷川町文化センターにおいて、ふれあい大学開講式が行われました。

これは、高齢者の生きがいと豊かな社会生活を築くことを目的とした講座で、バスハイクや体育祭を含む計10回の講座を予定しています。

式では、運営委員会の小野会長が「高齢者にとって、社会の変動は激しいが、ふれあい大学を通じて有意義な学習をしていきましょう」とあいさつ。

続く記念公演では、「東西落語会in氷川町」と題して、3人の落語家による噺（はなし）を鑑賞し、落語家の巧みな話芸に、終始笑いの絶えないひとときを過ごしました。

▲巧みな話芸で会場を盛り上げた橘家蔵之助さん

心を込めて花束づくり
竜北西部小でヒマワリ花束づくり

6月27日、竜北西部小学校において、花育活動の一環として、4月に種を植えたヒマワリを使って花束づくりが行われました。

色鮮やかなオレンジ色に育ったヒマワリは、この日、花き協会八代支部や下鹿島婦人会スイートピーの皆さんらによって収穫され、1、2年生の生徒たちに届けられました。

その後、1年生たちは、フラワーアレンジメントの先生やスイートピーの皆さんから教わりながら、ヒマワリの花束を作りました。

きれいに咲いた花は、よりきれいな姿となって、生徒から家族に手渡されました。

▲ヒマワリを丁寧に束ねます